

**有意義な夏休みを過ごすことができましたか？**

夏休みも終わり、前期後半のスタートです

有意義な夏休みを過ごすことはできましたか？夏休みの期間を利用して、日本に一時帰国し、日本の学校への体験入学を経験をなさった方も多かったと思います。現地の学校と日本の学校との違いに戸惑ったお子様もいたのではないのでしょうか。「海外子女教育」という雑誌から、いくつかの例を挙げてみます。

## ○「プールでの水泳指導では」

現地校では、登校時から普段着の下に水着を着込んで行ったり、着替えるための専用の個室があったりする場合もあるが、日本の小学校では、教室で着替えることも多い。そのために、ボタンのついたバスタオルが市販されており、着用している姿は、「てるてる坊主」みたいです。また、プールには眼専用のシャワーがあり、水泳の授業の後に眼を洗う習慣がある。

## ○「教室の床には座らないが、グランドの土の上には、じかに座る。」

座るときも「体育座り」という日本独特の座り方です。おしりを床につけ、ひざを両手で抱えるスタイルです。現地校では、あぐらが多いのでは？日本では、特に女の子には厳しく指導されます。教室の中では、先生の周りに集合するときは、床に座って集まるのではなく、椅子を持って集まります。



## ○「歩いて通学」

日本の公立小学校では、よほどの場合でなければ徒歩で登下校をします。また、登下校の際には、大きなランドセルにいっぱい荷物を入れて行きます。現地校では、宿題のプリントを持ち帰るぐらいで、教科書やノートは学校に置いていくのでは？日本では教科書を学校に置いて帰ったら指導を受けます。

## ○「数字の書き方にも違いがあります。」

数字の書き方も、若干違いがあります。数を数えるときに日本では「正」を使ったりします。また、給食の配膳も子どもたちが自分たちでします。

## ○「集団行動の難しさ」

日本では、集団行動を徹底して繰り返されます。背丈順や名前順など様々な列を作る指導が行われます。



上記以外にも沢山の違いを感じたことと思います。中には対応できずに大変な思いをしたお子様もいたことと思います。でも、大丈夫です。大事なことは違いを認識することです。慣れればできるようになります。

お子様方は、体験入学以外でも、この夏休みに色々な経験をして一回りも二回りも成長したことと思います。その経験をこれからの生活に役立ててほしいと思います。

**制服着用規定が適用されます。**

本年度より、制服を着用することになり、前期前半までを周知期間としてきました。いよいよ、7月19日より規定を適用いたします。（規定につきましては、学校要覧で再度ご確認ください。）

特に、制服着用規定の3 制服の貸し出し・返却と購入については、貸与された制服が、翌週返却されなかった場合は、購入したものと判断され、実費（15ドル）を支払うこととなっています。併せて、制服着用違反としても取り扱われます。ご注意ください。

**前期後半の主な行事**

7月19日	前期後半始業式	8月2日	Rainbow for Japan Kids
8月16日	避難訓練（ロックダウン）	8月23日	進級・進学テスト①
8月30日	期末テスト	9月13日	小・中運動会 オープンデー (幼稚部休園)
9月20日	進級・進学テスト②	9月27日	前期終業式